

第4号議案

平成24年度事業計画（案）について

1 ツーリズム創造・発展事業

(1) ツーリズム企画推進事業

①各種委員会を中心に、会員相互の連携により事業企画・推進を図るもの。

併せて、平成25年4月に予定している新公益法人への移行に向けて、環境の変化に応じた各種委員会の再編を検討する。

- 事業企画委員会
- 観光・ホスピタリティ推進委員会
- 広域観光委員会
- 二次交通委員会
- 情報発信委員会
- インバウンド事業委員会

②ツーリズムおおいたが事務局として協議会の運営にあたり、事業企画・推進を図るもの。

- 大分県ふるさとガイド連絡協議会
- 大分県教育旅行誘致協議会
- 大分県スポーツツーリズム推進連絡協議会

(2) 地域ツーリズム振興事業

①大分県観光イメージ戦略構築事業

平成23年度に設けた大分県観光イメージ検討委員会を中心に、大分県観光の新たなイメージ戦略の構築を目指す。

また、平成22年度の温泉をテーマにした写真画像素材の作成に引き続き、平成23年度の道をテーマにした写真画像素材の作成を継続して、観光情報の発信に際して積極的に活用する。

②大分県ふるさとガイド育成事業

“観光は人こそ主役”をスローガンとして、大分県ふるさとガイド連絡協議会の交流研修会を開催し、ガイドの資質向上に努めるとともに、ガイド同士の交流を図る。

また、平成23年度に改訂・開設した「大分まちあるきプログラム」やホームページを通して、ガイドを活用した着地型旅行商品の造成を目指す。

さらに、まちあるき観光列車などの都市圏観光誘客促進事業とも連携して、ガイド活動の幅を広げていくことに務める。

③広域観光推進事業

1) 新東九州観光圏では、平成23年度に実施した観光地域づくりプラットフォーム事業において、臼杵市・津久見市・佐伯市などに観光地域づくりの議論の場として設置したワーキングチームの活動が今後も継続していけるように、事務局である大分県観光・地域局と連携しながら支援を行う。

それにより、観光圏の圏域から、観光地域づくりプラットフォームを担える人材の発掘と育成を引き続き図っていく。

2) 豊の国千年ロマン観光圏では、引き続き大分県北部地域観光圏協議会に事務局として参画。“歴史”“温泉”“食”を三本柱として、時間旅行バス“豊の国千年ロマン号”運行事業をはじめ、温泉スタンプラリー“別府八湯温泉道ー豊の国千年ロマン編”やグルメスタンプラリー“豊の国千年ロマングルメ巡行”などを継続するとともに、観光庁補助金を活用した着地型体験プログラムの造成や観光地域づくりプラットフォームの設立準備に挑んでいく。

(3) 都市圏観光誘客促進事業

①旅行エージェント対策事業

都市圏からの観光客の拡大を図るため、地元発の観光素材を盛り込んだ旅行企画提案書を作成し、各地の旅行エージェントに対する誘客活動に活用する。

また、平成24年度は国宝である宇佐神宮本殿の修復が予定されていることから、県教育委員会などとも連携して修復現場公開を観光素材として活用する。

- ・観光素材・旅行企画提案書の作成
- ・旅行エージェントの招聘
- ・地元観光事業者などと旅行エージェントのマッチングを目的とした商談会の開催
- ・九州観光推進機構主催の観光素材説明会・相談会への参加
(東京、名古屋、大阪、広島、福岡、札幌)
- ・旅行エージェントのキャンペーンとのタイアップ
- ・坐来大分を活用した情報発信

②旅くらぶおおいた活用事業

- ・旅くらぶおおいた活用によるモニターツアーや意見交換会の開催

(4) 関西圏域観光誘客促進事業

九州新幹線の全線開業を契機として、関西以西からの観光客が急増しており、今後もさらなる増加が期待できることから、関西以西をターゲットとした誘客の強化を図るとともに、県内周遊と滞在時間延長を促進する事業を実施する。

- ・関西圏域など誘客強化対策事業の実施

「おおいた竹ものがたり in せんちゅうパル」の開催

- イベント開催、TV・ラジオ・新聞など複数メディアによる効果的な情報発信
- ・まちあるき観光列車の運行（久大本線、日豊本線、豊肥本線）
- ・JR連携による取り組みの実施
 - 新幹線に接続した県内周遊切符などを組み合わせた商品造成、販売促進
- ・着地型観光の整備
 - 駅から始まるミニツアー及び県産品を活用したスタンプラリーの実施

（５）MICE誘致強化学業

平成23年度にMICE情報データベースの構築を行ったので、そのデータを基に国際レベル、全国レベル、九州レベルでターゲットを絞って誘致活動を行う。また大分県庁各部、大分県東京事務所とも連携を取り、新たなターゲットを発掘していく。

Meeting：国内都市圏に向けたオフサイトミーティングの誘致を中心に、旅行エージェントへの営業活動強化

Incentive：**Meeting**同様に旅行エージェントへの営業活動強化と大分県独自のプログラム造成

Convention：大分県の豊かな地域資源（温泉、歴史、グルメなど）に関するターゲットの選定と主催者への誘致活動強化

Event：プロスポーツチームの存在を活かしたスポーツイベントや合宿の誘致活動強化と誘致活動に最低限必要なツールやPRグッズ作成。

2 観光情報収集・発信事業

（１）観光情報収集事業

地域観光協会の観光情報と連携するXMLシステムを活用しながら、県内の旬の情報やご当地ならではの情報、会員を中心とした新しい取り組みに関する情報などを収集・集約するシステムの構築を目指す。

（２）観光情報誌発行事業

情報発信委員会を中心に県内季節ごとの魅力ある情報をまとめた観光情報誌「Gururitto〜ぐるり〜」を年4回発行し、県内はもとより九州内の道の駅や公共交通機関のターミナルなどで配布する。また、会員向けには2ヶ月に1回「ツーリズムおおいたNEWS」を発行し、各種事業の現況や県内の観光の動向を紹介する。

（３）観光ホームページ管理事業

大分県観光に関する総合的な情報や県内各地で開催されるイベント情報をホームページやツイッターで発信するとともに、動画やフリー素材の写真データ、各種リンクなどの充実によりアクセス数の増加を図る。

(4) マスメディア活用事業

大分県観光のイメージアップを図るため、九州観光推進機構や福岡・大阪・東京の大分県事務所と連携しつつ、テレビ、雑誌、新聞などマスメディアに対して積極的に働きかけ、情報発信に努める。

(5) 緊急雇用広域観光連携促進事業

県内の主要交通拠点にツーリズムおおいたの広域観光情報ブースを設置し、観光情報の発信や二次交通の案内、イベント案内等の情報発信を行う。

(6) 県内各地観光案内所との連携強化事業

JR 大分駅の高架開業に伴い、リニューアルされる大分市観光案内所をはじめ、県内各地の観光案内所との連携を強化し、観光客・来県者に向けた情報発信に努める。

3 海外観光客誘致対策事業

(1) 中国・韓国・台湾など誘客対策事業

中国・韓国・台湾などからの観光誘客を図るため、海外エージェントに向けたセールスを強化する。大型クルーズ船の県内寄港の定期化に向けた誘致活動を行うとともに、中華圏における「温泉日本一の大分県」のイメージ定着を図るため、中国語の温泉動画サイトの充実を図る。

- ・観光展、商談会や大分物産フェアなど現地セールスの強化
- ・大型クルーズ船の県内寄港の定期化に向けた誘致活動の実施
- ・インターネット上への中国語温泉動画サイトの充実
- ・外国語ホームページの運営及び外国語パンフレットの作成
- ・長崎・熊本と連携した九州横断ルートの宣伝活動や誘致活動の実施

(2) 外国語観光情報発信強化事業

大分県への関心を高めるよう外国語で情報発信を行い、観光誘客を図る。

情報発信ツールとして訪日外国人観光客が最も活用しているインターネットの民間旅行サイトと、大分県の観光ホームページとの連携により、本県の観光PRを民間旅行サイトの集客力を活用して強化する。

- ・大分県観光ホームページの改修による基本情報の充実
- ・在住外国人向けのフリーペーパーへの広告、タイアップ記事の掲載
- ・県内観光事業者への観光情報発信に関する啓発活動

4 ツーリズム推進体制強化事業

(1) 総会の開催

会員の総意に基づきツーリズムおおいたの事業を推進するため、通常総会を年1回開催する。通常総会においては、前年度の事業報告や決算報告を行うとともに、

新年度の事業計画案、収支予算案を諮り、その承認を求める。また、大分県のツーリズム振興に特に功績のあった団体・個人に対してその功績を称え、表彰を行う。

(2) 理事会の開催

通常理事会については、年2回開催する。

(3) 運営会議の開催

事業活動の円滑な運営と活性化を図るため、会長及び副会長からなる運営会議を定期的に開催する。

(4) 運営基盤の確立

安定した運営基盤を確立するため、新規会員の加入促進や自主事業収入の確保など運営基盤の強化を図る。

また、平成25年4月に予定している新公益法人への移行手続きを行う。

(5) 会員との連携強化

大分県全体のツーリズム振興をさらに円滑に行うため、各地域の市町村・観光協会・観光事業者・まちづくり団体など会員との連携体制を強化し、情報収集及びその発信をはじめ共同での事業推進を図る。